

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信 託 期 間	2020年3月10日から2022年3月10日まで	
運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	円建の外国投資信託「バッシン・トラストーUSテクノロジー2xブル・ファンドークラスC証券」および国内投資信託「マネーアカウンタマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	バッシン・トラストーUSテクノロジー2xブル・ファンドークラスC証券	主として円建の日本国債を投資対象とします。 JPモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、またはJPモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
	マネーアカウンタマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
	バッシン・トラストーUSテクノロジー2xブル・ファンドークラスC証券	店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資は行いません。 有価証券の空売りは行いません。
	マネーアカウンタマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ7 (ナスダック100・ダブルブル7)

第1期運用報告書（全体版） (決算日 2021年3月10日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ7（ナスダック100・ダブルブル7）」は、2021年3月10日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	パッシブ・トラスト－ US テクノロジー ブル・ファンド－ クラスC 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
設 定 日 2020年 3 月 10 日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1 期 (2021年 3 月 10 日)	21,920	0	119.2	—	—	95.1	2,304

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	パッシブ・トラスト－ US テクノロジー 2x ブル・ファンド－ クラスC 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
設 定 日 2020年 3 月 10 日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
3 月 末	9,394	△ 6.1	—	—	90.7
4 月 末	11,377	13.8	—	—	77.0
5 月 末	12,772	27.7	—	—	90.1
6 月 末	14,037	40.4	—	—	92.7
7 月 末	15,121	51.2	—	—	95.3
8 月 末	18,891	88.9	—	—	95.3
9 月 末	16,999	70.0	—	—	95.2
10 月 末	16,605	66.1	—	—	94.6
11 月 末	18,885	88.9	—	—	95.2
12 月 末	20,351	103.5	—	—	95.1
2021年 1 月 末	21,619	116.2	—	—	94.8
2 月 末	21,181	111.8	—	—	95.1
期 末 2021年 3 月 10 日	21,920	119.2	—	—	95.1

(注) 基準価額は1口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：21,920円（既払分配金0円）

騰落率：119.2%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、設定日（2020年3月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- （注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。ナスダック100指数が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券	133.6%
マネーアカウンタマザーファンド	△ 0.1%

■ 投資環境

【米国株式市況】

当期のナスダック100市場は、上昇しました。期初、米国内における新型コロナウイルス感染拡大により、各州が外出禁止令を出すなど経済活動が停滞し、景気先行きへの悲観的な見方が急速に高まったことから大幅下落し、原油先物価格が暴落したことも株価下落に拍車を掛けました。その後、2020年8月にかけては、矢継ぎ早に金融、財政両面での景気下支え策が打たれたことなどから上昇に転じ、新型コロナウイルスの感染拡大にピークアウトの兆しがみられたことや、マクロ指標の改善、ワクチン・治療法の開発進展、FRB（米連邦準備制度理事会）の緩和スタンス長期化などを背景に大幅上昇しました。9月から10月にかけては、回復基調を裏付ける堅調な経済指標を受け、上昇する局面もありましたが、追加経済対策の協議の動向や新型コロナウイルス感染再拡大、11月の大統領選を控えた政治リスクが台頭してきたことなどから、先行きに対する警戒感が高まり軟調な展開となりました。11月から12月にかけては、大統領選でバイデン氏当選が確実になったことで先行きの不透明感が後退したことやワクチンの早期普及による経済活動の早期正常化期待から上昇しました。2021年1月から期末にかけては、新型コロナウイルス感染再拡大に伴い一部都市圏では再ロックダウンが実施されたことや、大統領選の結果を巡りトランプ前大統領支持者が暴徒化するなど政権移行に対する不安感などから下落する局面もありましたが、ジョージア州決選投票の結果、大統領と上下両院の全てを民主党が制したことで、政治的不透明感が払拭されたことに加え、追加経済対策への期待感から底堅い展開が続きました。期末にかけては、米長期金利が急騰したことに対する懸念が広がり下落する場面もありましたが、追加経済対策法案の最終的な議会採決を控え、経済再開への期待感から反発しました。

ナスダック100指数（円ベース）の推移



（注）米ドル建指数を当社が独自に円換算した指数を表示しております。

ナスダック100指数について

Nasdaq®、NASDAQ-100®およびNASDAQ-100 INDEX®は、Nasdaq, Inc.（以下、その関係会社と合わせて「ナスダック」といいます。）の登録商標であり、T&Dアセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックは、T&Dダブルブル・ベア・シリーズ7（ナスダック100・ダブルブル7）（以下、「本商品」）の適法性および適格性について保証するものではありません。本商品は、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、本商品に関していかなる保証も行わず、また、いかなる責任も負担しません。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.34%から期末は△0.10%となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ブル・ファンド－クラスC証券」を高位に組入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。

【パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ブル・ファンド－クラスC証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN.A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市況動向等勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ブル・ファンド－クラスC証券」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【パッシム・トラスト－US テクノロジー 2x ブル・ファンド－クラスC証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、J PモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1口当たりの費用明細 (2020年3月10日から2021年3月10日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2020/3/10～2021/3/10		
	金額	比率	
平均基準価額	16,436円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	170円 (91) (73) (7)	1.037% (0.552) (0.441) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	3 (3) (0)	0.017 (0.017) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	173	1.054	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

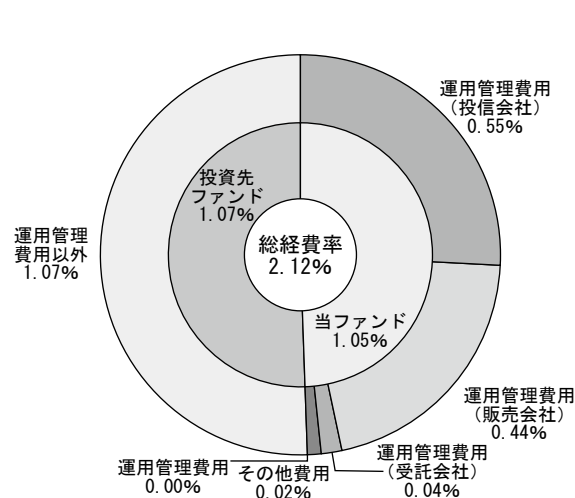
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1万口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.12%です。



総経費率 (①+②+③)	2.12%
①当ファンドの費用の比率	1.05%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.07%

(注) ①の費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2020年3月10日から2021年3月10日まで）

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券	口 442, 150	千円 7, 493, 368	口 348, 350	千円 6, 414, 394

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド		千口 19	千円 20	千口 —	千円 —

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2020年3月10日から2021年3月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2020年3月10日から2021年3月10日まで）

設定時残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 1, 100	千円 —	千円 1, 100	千円 —	当初設定時における取得およびその処分

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細（2021年3月10日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ア ン ド 名	当 期		末
	口 数	評 価 額	比 率
パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券	口 93, 800	千円 2, 191, 310	% 95. 1

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期		末
	口 数	評 価 額	額
マネーアカウントマザーファンド	千口 19		千円 19

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は535, 284千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2021年 3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x プル・ファンド - クラスC証券	2, 191, 310	93. 2
マネーアカウントマザーファンド	19	0. 0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	160, 281	6. 8
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 351, 610	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年 3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2, 351, 610, 236円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	160, 279, 674
パッシブ・トラスト - US テクノロジー 2x プル・ファンド - クラスC証券(評価額)	2, 191, 310, 576
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	19, 986
(B) 負 債	47, 424, 518
未 払 金	22, 807, 260
未 払 解 約 金	13, 568, 338
未 払 信 託 報 酬	10, 863, 794
未 払 利 息	267
そ の 他 未 払 費 用	184, 859
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2, 304, 185, 718
元 本	1, 051, 160, 000
次 期 繰 越 損 益 金	1, 253, 025, 718
(D) 受 益 権 総 口 数	105, 116口
1 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	21, 920円

- (注) 設定時元本額 1, 100, 000円
期中追加設定元本額 7, 694, 040, 000円
期中一部解約元本額 6, 643, 980, 000円
(注) 1口当たり純資産額は21, 920円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(112, 587, 221円)および収益調整金(1, 140, 621, 497円)より、分配対象収益は1, 253, 208, 718円(1口当たり11, 922円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2020年 3月10日 至2021年 3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 25, 795円
受 取 利 息	56
支 払 利 息	△ 25, 851
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	127, 170, 757
売 買 益	450, 732, 117
売 買 損	△ 323, 561, 360
(C) 信 託 報 酬 等	△ 14, 583, 536
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	112, 561, 426
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1, 140, 464, 292
(配 当 等 相 当 額)	(△ 183, 000)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1, 140, 647, 292)
(F) 合 計(D + E)	1, 253, 025, 718
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	1, 253, 025, 718
追 加 信 託 差 損 益 金	1, 140, 464, 292
(配 当 等 相 当 額)	(△ 183, 000)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1, 140, 647, 292)
分 配 準 備 積 立 金	112, 587, 221
繰 越 損 益 金	△ 25, 795

- (注) 損益の状況の中で
(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1口当たり・税引前)

項目	当期
	2020年3月10日 ～2021年3月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,922

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針 主 な 投 資 対 象	主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 主として円建の日本国債を投資対象とします。 スワップ取引等のデリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
投 資 態 度	①主として円建の日本国債を投資対象とします。 ②J Pモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 ③スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。 【US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券】 米国の株価指数であるナスダック100指数における円ベースでの日々の騰落率の概ね2倍程度 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主 な 投 資 制 限	①店頭オプション、上場オプション、E T Fに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性に欠ける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社および管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
決 算 日	6月30日
分 配 方 針	原則として、年1回分配を行います。
投資運用会社 管 理 会 社	J. P. モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

※「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド - クラスC証券」は、円建ての外国投資信託「パッシム・トラスト」のサブファンドです。次ページ以降の記載は、「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド」の状況です。

※次ページ以降の記載は、J Pモルガン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は入手可能な直近の監査済報告書を当社が一部和訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド

(1) 損益計算書

計算期間：2020年3月10日～2020年6月30日

単位：千円

収益	
投資に係る実現損益	245,544
受取利息（アモチゼーションによるものを含む）	65
収益合計	245,609
費用	
管理報酬	470
監査費用	189
保管費用	83
投資運用会社報酬	(685)
当初設立費用	3,640
取引費用	779
受託手数料	127
弁護士報酬	4
その他費用	311
運用費用合計	4,918
税引前損益	240,691
源泉徴収税	(10)
運用による純資産増減額	240,681

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「パッシム・トラスト - US テクノロジー 2x ブル・ファンド」における「クラスC証券」の決算期末の持分比率は100.0%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2020年6月30日

債券現物

単位：円

銘柄名	利率	償還日	額面	評価額
第127回利付国債（5年）	0.1%	2021/3/20	268,000,000	268,522,600
第395回利付国債（2年）	0.1%	2020/12/1	135,000,000	135,144,450
第400回利付国債（2年）	0.1%	2021/5/1	115,000,000	115,273,700
合計				518,940,750

スワップ

単位：円

想定元本額	評価額
598,790,000	37,400,385

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第22期（決算日 2020年12月10日）
（計算期間 2020年6月11日から2020年12月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2020年12月10日に第22期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	円	期 騰 落 中 率 %			
18期（2018年12月10日）	10,019	△0.0	—	—	百万円 170
19期（2019年6月10日）	10,014	△0.0	—	—	361
20期（2019年12月10日）	10,011	△0.0	—	—	243
21期（2020年6月10日）	10,007	△0.0	—	—	517
22期（2020年12月10日）	10,004	△0.0	—	—	716

（注）基準価額は1万口当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

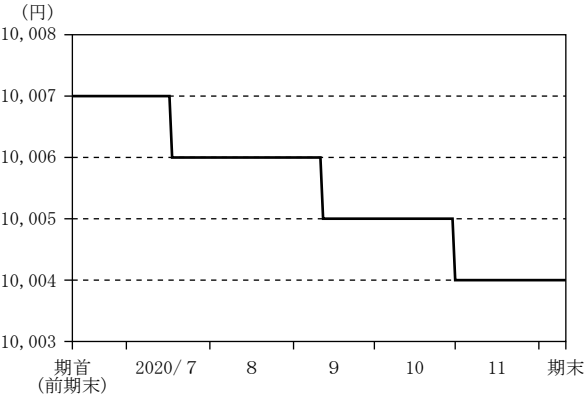
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2020年 6 月10日	円 10,007	% —	% —
6 月末	10,007	0.0	—
7 月末	10,006	△0.0	—
8 月末	10,006	△0.0	—
9 月末	10,005	△0.0	—
10月末	10,004	△0.0	—
11月末	10,004	△0.0	—
期 末 2020年12月10日	10,004	△0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,007円から期末は10,004円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことにより下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.11\%$ から期末は $\Delta 0.09\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2020年 6 月11日から2020年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2020年 6 月11日から2020年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2020年 6 月11日から2020年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2020年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2020年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	776, 037	100. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	776, 037	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	776,037,003円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	776,037,003
(B) 負 債	60,001,360
未 払 解 約 金	60,000,000
未 払 利 息	1,360
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	716,035,643
元 本	715,772,767
次 期 繰 越 損 益 金	262,876
(D) 受 益 権 総 口 数	715,772,767口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,004円

- (注) 期首元本額 516,928,023円
 期中追加設定元本額 1,569,190,434円
 期中一部解約元本額 1,370,345,690円

(注) 1口当たり純資産額は1.0004円です。

- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース 18,088,924円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース 3,880,650円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース 271,416円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース 84,421円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース 1,183,231円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース 9,673,783円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース 71,007円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアル・コース 4,934,473円
 T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアル・コース 97,216円
 リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース) 99,632円
 リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース) 99,632円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(インド・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(インド・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(中国・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(中国・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(ナスダック100・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(ナスダック100・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(金・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(金・ダブル7) 19,983円
 T&Dダブル・ベア・シリーズ7(マネーボール7) 677,128,518円

損益の状況

当期 自2020年6月11日 至2020年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△193,669円
受 取 利 息	580
支 払 利 息	△194,249
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△193,669
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	370,229
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	809,566
(E) 解 約 差 損 益 金	△723,250
(F) 合 計 (B＋C＋D＋E)	262,876
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	262,876

(注) 損益の状況の中で

- (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。